

助成事業細目	スポーツ活動推進事業	
	調査研究	
事業名	国際および全国大会におけるゲーム分析調査事業	
実施した事業の成果	<p>本事業を実施する事により</p> <p>→国内で実施されるジュニア大会等におけるゲームの課題点を明確にする事が出来た</p> <p>→課題点に関し、基礎的な資料となるラリー中のポジショニングに関するデータを得ることが出来た。</p>	
実施した事業に対する評価	国内における国際および全国大会に専門的視点で情報収集を行うスタッフを派遣することにより国内におけるテニスのゲームの様相に関し定性的なデータを得る事が出来た。また同様にビデオによって試合映像を査察監視、事後に定量的な分析手法を通して貴重なデータを得ることが出来た。	
	〔団体としての数値目標〕	〔数値目標に対する結果〕
	ビデオによる分析対象とする試合数50試合以上 分析結果に関するプレゼンテーションをのべ200名以上の指導者の前で実際に行う。 分析結果から一定のテーマに基づき作製したテクニカルレポートを100名以上の指導者に配	分析対象として取得したビデオは計87試合 プレゼンテーションは予定していた機会が得られず未実施 テクニカルレポート配布数も上記の機会と同様であったため未実施
実施した事業の内容 (種目・期間・場所・対象者等)	〔実施事業の内容〕	
	調査期間	2013年4月1日から2014年3月25日
	成果報告書の作成日	2013年4月8日
	調査内容	国内で開催される国際大会ならびに全国大会において試合映像の撮影を行う、またナショナルレベルのコーチの戦術的観点を合わせてゲーム分析の視点で分析を行う
	調査したデータ等について、客観的な分析方法	試合中のラリー毎におけるポジショニングデータの取得
	事業の成果報告書を広く一般に提供する方法	日本テニス協会ホームページにおける配布
	成果物の配布数又は掲載したHPアクセス数	後日HP掲載予定 部またはアクセス
	スポーツ医・科学の知見を用いた研究がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/> 用いた <input type="checkbox"/> 用いていない
		【研究内容と方法】 試合中のラリー毎における打球者のコート内におけるポジショニングデータの取得と集計
成果を申請団体の事業又は関係団体に継承する仕組みが構築されているか	<input checked="" type="checkbox"/> 構築されている <input type="checkbox"/> 構築されていない	
	【成果を継承する方法】 調査報告書の配布により、また調査担当者が担当する指導者講習会などにおけるデータの活用	
備考		